

任期後半！決意新たに！！

稲村ひさお 道政だより



皆様の笑顔が私のエネルギー源



発行
稲村ひさお事務所

〒073-0113
砂川市晴見3条
北10丁目9番4号
TEL0125-54-3385
FAX0125-54-3334

生命の躍動を感じる向夏の季節を迎え、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、国政は総選挙を間近に控え、私達の生活をなおざりにした論争ばかりが目立つ不安定な状況が続いています。

一方、道議会では、先の第一回定例会において、道独自の緊急経済雇用対策を含む21年度予算や支庁制度改革などが議論されました。私も一般質問に立たせていただき、道民生活に関わる諸課題について知事を追及しましたが、不十分な答弁も多く、今後の取り組みのバネにしていかなければなりません。任期後半に突入した今、改めて空知の皆様への感謝を胸に、これまでの活動成果や反省を踏まえて邁進していく決意であります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

北海道議会議員

稲村 久男

ひさおのページも
見てくださいね！

<http://www.i76rider.ecweb.jp/>



稲村 ひさお



日頃のご支援に感謝



寒さにも屈しません



皆様の生活が第一



ミーデーにもできるだけ参加



各地の行事におじゃましました

ひさおの 活動アルバム

一般質問

地域医療の確保

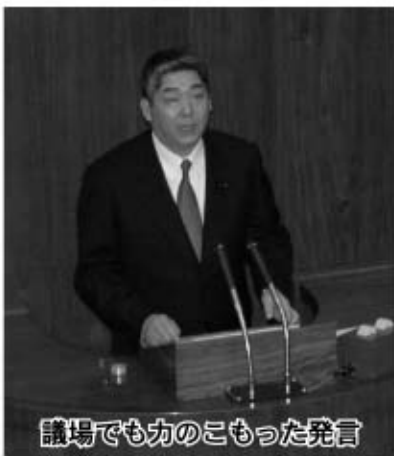
将来不安が広がる今日、安心して暮らせる社会を築くことは、政治に与えられた最大の使命です。とりわけ、皆様の生命や健康を守る地域医療を確保することは、まさに喫緊の課題であり、私はこれまで、議会での質疑をはじめ、道や関係団体等に働きかけてきました。

今回の一般質問では、この広い北海道において、地域医療に大きな役割を果たしている自治体病院が財政的に非常に厳しい状況の中、医療行政の牽引役である道が、具体的にどのような医療崩壊を防ごうとしているのか、さらには、道が昨年1月に策定した「自治体病院等広域化・連携構想」の進展等について質問しました。

自治体病院等広域化・連携構想とは……
道が昨年1月に策定した構想で、全道を30区域に分け、自治体病院が区域内の医療機関と連携し医療を提供する体制を築こうとするもの。空知管内は4区域に分けられている。

知事の答弁は、自治体病院への財政支援に関して、経営健全化に向けた情報提供や助言に努めるとともに、国に対して診療報酬の見直しや財政措置の充実に要望するにとどまりましたが、広域化・連携構想に関しては、私が提案した「モデル地区の設定」に対し、今年度以降、重点地域を設定し支援に取り組む考えを示しました。

この「重点地域設定」の質疑は、新聞紙上においても大きく取り上げられ、皆様の切なる声が私の活動を通して道政に反映されたものと改めて皆様に感謝しております。しかし、地域医療の現実を目の当たりにし、将来に思いを馳せれば、危機感には深まるばかりです。医療問題は、私の議員生活のライフワークと心に決めていますので、今後も全力で取り組んでいきます。



議場でも力のこもった発言

道立試験研究機関の地方独立行政法人化

道は平成22年度を目標に、農業試験場や水産試験場などの道立試験研究機関を地方独立行政法人に移行する方針を打ち出しており、第一回定例会において、法人の枠組みとなる「定款」を提案しました。

私は、道立試験研究機関は、北海道の産業や道民生活の向上に大きく貢献してきた道民の財産であると考えています。このため、行財政改革のみの視点から独法化することや、具体的な制度設計もできていない段階で定款を提案したこと、また、未だ市町村や関係団体などの理解を得ていないことなどの問題点を追求しました。

しかし、知事は、法人運営の基本指針などは今後の検討・協議に委ねるとの答弁に終始したため、私は、知事が強行的に進めた支庁制度改革の二の舞とならぬよう、慎重な対応を求めました。

夕張市の財政再生計画の策定

私の優先課題の一つに、住民サービスに直接関わる「市町村の財政再建」があり、夕張市の財政問題はその最たるものです。そこで今回は、夕張市が今年度中に策定する財政再生計画に関して、財政再生団体となつて経験したこの2年間を十分検証し、真に再生できる計画にしなければならぬという観点から、道の役割などを問いました。



半端な答弁は許さないぞ！

知事は、以前私の質問に対して夕張市への支援継続を表明していますが、根本的な問題である巨額の赤字解消や国に対する道の姿勢、職員の労働環境の問題については、今回も具体的な答弁が少なく、私としては今後も夕張市や関係機関等と連携して取り組むべき政治課題と考えています。